記者発表資料

平成 28 年 9 月 13 日
国土交通省東北地方整備局
新庄河川事務所
庄内町

庄内町の住民と岩手大がまちあるきでハザードマップを作成

～土砂災害防止に向けた全国初の取り組み～

庄内町と岩手大学、新庄河川事務所では、昨今の土砂災害発生状況等を鑑み警戒避難の強化に向けて「まるごと里ごとハザードマップ」（仮称）※1 を作成します。8 月 22 日（月）に住民説明会を行っており、今回、9 月 17 日（土）に庄内町の住民と岩手大がまちあるきを行います。

地域の住民自らが危険箇所を確認し、土砂災害から身を守るための行動が速やかにとれることを目的に取り組むものです。

国立大学法人岩手大学では、「地域と協働した防災力向上に関する研究」（井良沢道也教授）を進めています。今回、同教授の研究室の学生自らが地域防災力向上に関して学ぶことも目的としています。

地域と官・学が連携し、「まるごと里ごとハザードマップ」を作成する全国で初めての取り組みになります。

なお、今回の取り組みは、平成 29 年度に直轄砂防事業に着手してから、80 年の節目を迎えることを契機に実施するものです。

記

■実施内容（まちあるき）

日　　時 ： 平成 28 年 9 月 17 日（土） 9：00～12：00
※当日の気象状況等により、延期となる場合があります。

集合場所 ： 和郷（わごう）会館（木（き）の沢（さわ）地区）（山形県東田川郡庄内町肝煎（きもいり））

■参加人員庄内町木の沢地区町内会、岩手大学及び行政側　約 20 名程度

※1）国土交通省では、平成 18 年 7 月から生活空間である市街地に水災にかかる各種情報を洪水関連標識として表示する「まるごとまちごとハザードマップ」（下記参照）を推進しています。これを基に新庄河川事務所では、砂防版として「まるごと里ごとハザードマップ(仮称)」と呼び、避難誘導標識の他に手作りの避難経路図の作成に取り組んでいくものです。

（発表記者先）
山形県政記者クラブ、酒田記者クラブ、鶴岡記者会、新庄新聞放送記者会

問い合わせ先
国土交通省　東北地方整備局　新庄河川事務所
〒996-0071 新庄市小田島町 5－55　TEL 0233（22）0262（調査課直通）
副所長（砂防）　鴫原（しぎはら）　吉隆（よしたか）（内線 205）
調査課長　　窪田（くぼた）　敏一（としかず）（内線 351）

庄内町役場
〒999-6601 東田川郡庄内町狩川字大釜 22　TEL 0234（56）3394
総務課　主幹（危機管理担当）齋藤（さいとう）　渉（わたる）

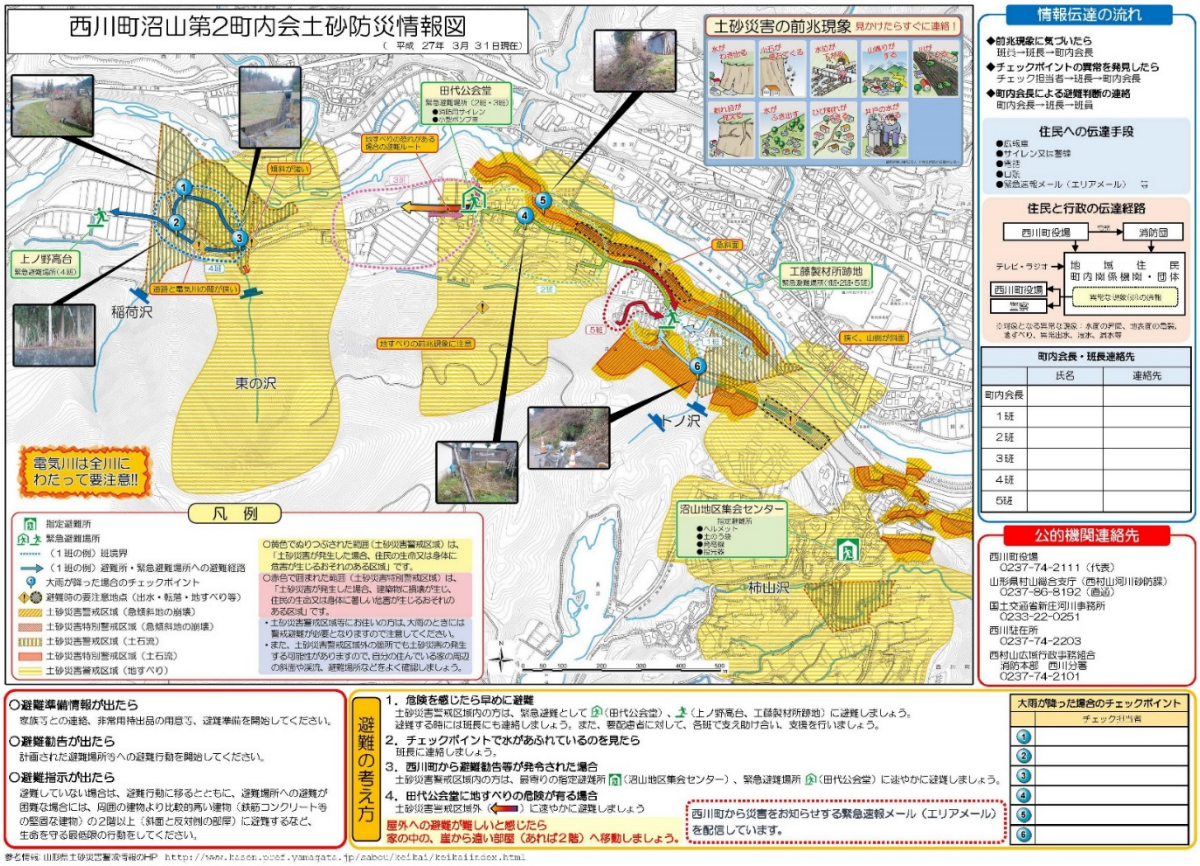
「まるごと里ごとハザードマップ」（仮称）の取り組み

＜全体スケジュール（予定）＞

- 平成28年　8月22日（月）　住民説明会（趣旨説明）
- 平成28年　9月17日（土）　まちあるきと現地情報図の作成
- 平成28年10月23日（日）　現地情報図の確認と図上検討会

＜参考＞

＜まるごと里ごとハザードマップ作成事例（西川町）＞





まちあるき
（H26年度　西川町）



図上検討会
（H26年度　西川町）